

山行報告書

受付 No.	238	登山地・ルート	笠ヶ岳
目的	冬山技術の向上		
メンバー	L : 大山、巢山		
行動記録			

月 日 曜	天候	ポイント地点・所要タイム
11・2・日	晴	浜松＝槍見温泉P～錫杖岳分岐～広サコ尾根～クリヤの頭 7:02 8:48 12:25 14:39
11・3・月	曇	クリヤの頭～笠ヶ岳～クリヤの頭～槍見温泉P＝浜松 6:01 9:17 11:22 15:23

記事 目的の成否・状況・問題点(反省)・メンバーの状況・ルートの注意点・自然状況

冬山技術の向上とともに、今シーズン最初の雪を踏むのが目的。

槍見温泉手前の露天風呂の駐車場で仮眠。トイレもある。朝、槍見温泉駐車場に移動。

クリヤ谷を夏道に沿って歩いて行く。錫杖岳分岐の先の岩小屋を過ぎると、広サコ尾根の鞍部が近いが、雪が全くなく、藪も濃そうなので、そのまま谷沿いの夏道に行く。1800mくらいから解け残りの雪がちらほら。標高を上げると次第に増えていって夏道も埋もれてきたが、まだなんとなく夏道をトレースできるくらいの雪の量だった。2000mくらいまで上がると広サコ尾根が右手に近く見え、出発前に花村さんの「冬山の下見なら…」のひと言が頭にあり、このまま谷すじを上がるより、広サコ尾根を少しでもトレースしてみようという気になる。

しかしすぐに藪に行く手を阻まれ一瞬ひるむが、笹をつかんで藪をこぎ、強引に尾根に上がる。スパッツやカップのズボンを着けずに突っ込んだので、ズボンがびしょ濡れになった。尾根上でアイゼンなど着ける。が、苦労して登った尾根なのに、尾根上も藪がひどく傾斜もあり、それでもしばらく進むが、結局岩壁に突き当たって谷すじを巻く。尾根に戻る気にはなれず、そのままクリヤの頭を目指して藪を漕いでいると夏道に合流。クリヤの頭を巻いて鞍部に出る。テン場にと当てにしていた鞍部だったが、雪が少なく藪が出ていて、数箇所整地を試みたが TENT を張る広さを確保できず、仕方ないので登山道のど真ん中を整地して TENT を張る。

翌日は曇っていたものの展望はよかった。雷鳥岩を巻くと雪が深く、深いところで膝くらいまで。そこから一旦下って登り返し、稜線に出ると、雪面がクラストしており、足で踏み潰しながらのラッセルで、交替でやるものなかなか進まず、笠のピークを踏めるのか少し心配になった。それでも TENT 場から 3 ピッチで山頂に着く。山頂直下で休憩した頃までは展望があったのに、山頂に着いたらガスに巻かれてしまった。笠ヶ岳山荘のほうから来ているトレースがひと筋ついていて、下りはガスの中だったが、トレースを戻すだけなので迷うこともなく、途中、雷鳥の群れにも会う。雷鳥岩への登り返しがきつかった。TENT 場からの下りは、広サコ尾根には近寄らず、終始沢沿いの夏道を下る。

積雪量もまだ少なく、夏道沿いに登ることができたので、特にルート上に危険な箇所もなかった。夏道はトラバースが多かったので、積雪期は全く違うルート取りになるのだろうと思った。

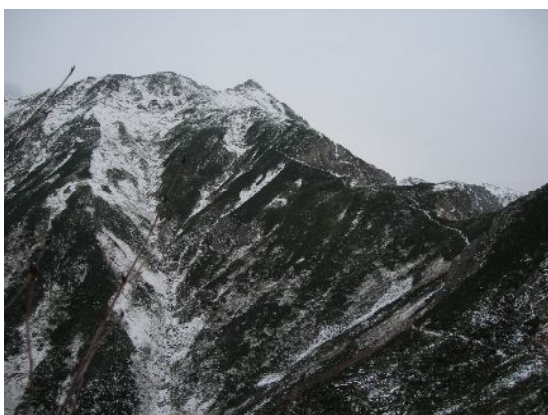
紙面不足の場合は裏面へ

報告者	大山	受付	平成	年	月	日	受付者	
-----	----	----	----	---	---	---	-----	--

駐車場から槍ヶ岳が見えた。



雷鳥岩を回り込むと笠ヶ岳が見えた。



広サコ尾根をゆく…



一步一步、笠に近づく…



クリヤの頭



これだけ見れば文句なしでしょう。

